



平成 27 年 4 月 13 日

各 位

会社名 株式会社石井表記
代表者名 代表取締役 石井 峯夫
(コード番号 6336 東証第2部)
問合せ先 取締役 渡邊 伸樹
管理本部長
(TEL 084-960-1247)

**(訂正・数値データ訂正)「平成 27 年 1 月期 第 1 四半期決算短信[日本基準](連結)」
の一部訂正について**

平成 26 年 6 月 12 日に開示いたしました「平成 27 年 1 月期 第 1 四半期決算短信[日本基準](連結)」
について、訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

訂正理由につきましては、本日、別途開示いたしました「過年度決算短信等の訂正および平成 27
年 1 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正内容

訂正箇所には下線を付しております。

<サマリー情報>

(訂正前)

1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	2,085	67.0	376	—	352	—	350	—
26年1月期第1四半期	1,248	△29.0	△124	—	△123	—	△64	—

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 397百万円 (—%) 26年1月期第1四半期 △21百万円 (—%)

(中略)

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,349	0.9	90	863.2	66	—	43	28.1	4.10
通期	7,134	16.5	362	—	291	—	293	—	34.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(訂正後)

1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	2,085	67.0	376	—	352	—	350	—
26年1月期第1四半期	1,248	△29.0	△123	—	△123	—	△64	—

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 397百万円 (—%) 26年1月期第1四半期 △21百万円 (—%)

(中略)

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,349	0.9	90	699.5	66	—	43	28.1	4.10
通期	7,134	16.5	362	—	291	—	293	—	34.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

<添付資料>

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

(省略)

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに応えるべく製品等の改良施策を推進してまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20億85百万円（前年同期比67.0%増）となり、営業利益は3億76百万円（前年同期は1億24百万円の営業損失）、経常利益は3億52百万円（前年同期は1億23百万円の経常損失）、四半期純利益は3億50百万円（前年同期は64百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(中略)

(ディスプレイおよび電子部品)

パチスロ機の人気も一度は回復したものの、再びパチスロの稼働状況が低下しておりましたが、当社得意先の営業戦略もあり同社向けの販売が増加したこと、他社への営業展開の進展による販売が増加したことから、当社の販売は増加いたしました。

工作機械および産業用機械については、景況の改善や設備投資関連の政府措置などによる内需の復調および北米を中心とした外需の復調から、当社スイッチパネルの販売は増加いたしました。

その結果、売上高は9億72百万円（前年同期比30.1%増）、営業利益は1億2百万円（前年同期比244.6%増）となりました。

(訂正後)

(省略)

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに応えるべく製品等の改良施策を推進してまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20億85百万円（前年同期比67.0%増）となり、営業利益は3億76百万円（前年同期は1億23百万円の営業損失）、経常利益は3億52百万円（前年同期は1億23百万円の経常損失）、四半期純利益は3億50百万円（前年同期は64百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(中略)

(ディスプレイおよび電子部品)

パチスロ機の人気も一度は回復したものの、再びパチスロの稼働状況が低下しておりましたが、当社得意先の営業戦略もあり同社向けの販売が増加したこと、他社への営業展開の進展による販売が増加したことから、当社の販売は増加いたしました。

工作機械および産業用機械については、景況の改善や設備投資関連の政府措置などによる内需の復調および北米を中心とした外需の復調から、当社スイッチパネルの販売は増加いたしました。

その結果、売上高は9億72百万円（前年同期比30.1%増）、営業利益は1億3百万円（前年同期比228.8%増）となりました。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

(訂正前)

当社グループは、平成26年1月期におきまして22,843千円の営業損失、91,683千円の経常損失を計上し、当期純損失も100,366千円となりましたが、当第1四半期連結累計期間におきましては、営業利益376,014千円、経常利益352,485千円、四半期純利益350,275千円を計上しております。また、取引金融機関と協議中であった新たな経営改善計画についても基本的な同意を得ました。

(省略)

(訂正後)

当社グループは、平成26年1月期におきまして18,938千円の営業損失、91,683千円の経常損失を計上し、当期純損失も100,366千円となりましたが、当第1四半期連結累計期間におきましては、営業利益376,714千円、経常利益352,485千円、四半期純利益350,275千円を計上しております。また、取引金融機関と協議中であった新たな経営改善計画についても基本的な同意を得ました。

(省略)

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
その他	2,000,723	1,982,081
貸倒引当金	<u>△1,637,845</u>	<u>△1,553,462</u>
投資その他の資産合計	362,878	428,618
固定資産合計	5,096,016	5,109,482
資産合計	10,167,311	10,940,895

(省略)

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
その他	2,005,030	1,987,087
貸倒引当金	<u>△1,642,152</u>	<u>△1,558,468</u>
投資その他の資産合計	362,878	428,618
固定資産合計	5,096,016	5,109,482
資産合計	10,167,311	10,940,895

(省略)

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
売上高	1,248,670	2,085,826
売上原価	965,289	1,311,021
売上総利益	283,381	774,804
販売費及び一般管理費	408,304	398,789
営業利益又は営業損失(△)	<u>△124,923</u>	<u>376,014</u>
(中略)		
営業外費用		
支払利息	30,618	28,604
為替差損	—	134
減価償却費	13,949	9,970
その他	1,394	3,756
営業外費用合計	<u>45,962</u>	<u>42,466</u>
経常利益又は経常損失(△)	<u>△123,844</u>	<u>352,485</u>
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
売上高	1,248,670	2,085,826
売上原価	965,289	1,311,021
売上総利益	283,381	774,804
販売費及び一般管理費	406,654	398,090
営業利益又は営業損失(△)	<u>△123,273</u>	<u>376,714</u>
(中略)		
営業外費用		
支払利息	30,618	28,604
為替差損	—	134
減価償却費	13,949	9,970
貸倒引当金繰入額	<u>1,650</u>	<u>699</u>
その他	1,394	3,756
営業外費用合計	<u>47,612</u>	<u>43,165</u>
経常利益又は経常損失(△)	<u>△123,844</u>	<u>352,485</u>
(省略)		

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

(訂正前)

当社グループは、平成26年1月期におきまして22,843千円の営業損失、91,683千円の経常損失を計上し、当期純損失も100,366千円となりましたが、当第1四半期連結累計期間におきましては、営業利益376,014千円、経常利益352,485千円、四半期純利益350,275千円を計上しております。また、取引金融機関と協議中であった新たな経営改善計画についても基本的な同意を得ました。

(省略)

(訂正後)

当社グループは、平成26年1月期におきまして18,938千円の営業損失、91,683千円の経常損失を計上し、当期純損失も100,366千円となりましたが、当第1四半期連結累計期間におきましては、営業利益376,714千円、経常利益352,485千円、四半期純利益350,275千円を計上しております。また、取引金融機関と協議中であった新たな経営改善計画についても基本的な同意を得ました。

(省略)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	500,623	747,616	1,248,240	430	1,248,670	—	1,248,670
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	500,623	747,616	1,248,240	430	1,248,670	—	1,248,670
セグメント利益又は損失 (△)	△164,684	<u>29,884</u>	<u>△134,799</u>	9,876	<u>△124,923</u>	—	<u>△124,923</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽電池ウエーハ事業であります。

2. セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(省略)

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,112,967	972,515	2,085,482	344	2,085,826	—	2,085,826
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,112,967	972,515	2,085,482	344	2,085,826	—	2,085,826
セグメント利益	258,684	<u>102,981</u>	<u>361,666</u>	14,347	<u>376,014</u>	—	<u>376,014</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であり、主に太陽電池ウエーハ事業であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(省略)

(訂正後)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	500,623	747,616	1,248,240	430	1,248,670	—	1,248,670
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	500,623	747,616	1,248,240	430	1,248,670	—	1,248,670
セグメント利益又は損失 (△)	△164,684	<u>31,534</u>	<u>△133,149</u>	9,876	<u>△123,273</u>	—	<u>△123,273</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽電池ウェーハ事業であります。

2. セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(省略)

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,112,967	972,515	2,085,482	344	2,085,826	—	2,085,826
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,112,967	972,515	2,085,482	344	2,085,826	—	2,085,826
セグメント利益	258,684	<u>103,681</u>	<u>362,366</u>	14,347	<u>376,714</u>	—	<u>376,714</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であり、主に太陽電池ウェーハ事業であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(省略)

以上